



好きやねん湖東

湖東地区 まちづくり情報誌

第68号

小学校スキー教室



湖東地区の各小学校では、5、6年生を対象にスキー教室を開催しました。
今年は雪不足の心配もなく、白銀の世界を満喫できたようです♪



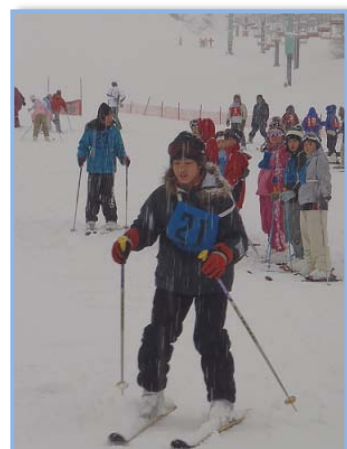
第2小学校 (奥伊吹)



第1小学校 (今庄365)



第1小学校 (今庄365)



第3小学校 (今庄365)



第3小学校 (今庄365)



第2小学校 (奥伊吹)

※一緒にまちづくりしませんか！ただいま湖東まち協ではお手伝いしていただける方を募集しています。
お気軽に声をかけてください♪

Dr. Koto 診療所だより 毎度おなじみ予防接種（予防注射）の話です

春休みは、受け忘れていた予防接種を受けるビッグチャンスです。子どもたち（保護者さま）は、“母子手帳”46-47ページを確認してください。（母子手帳は予防接種の証明書です）。必要な予防接種はすでにお済みですか？ 予防接種は、規則により接種すべき時期が定められています。大半の予防接種は「年齢」によって時期が決まっていますが、中には「学年」で決められているものがあります。学年で決められている予防接種の期限は、3月末日まで！ 4月になったら（進級したら）期限切れです。予防接種の受け忘れはありませんか？ 3月31日までです！ 急いで下さい。

《学年》ごとに確認しましょう。

◎3月に幼稚園・保育園を卒園する児童（園の最年長児童→4月に小学校に入学する児童：6歳児）
麻しん(はしか)風しん混合予防接種Ⅱ期を受けてください。

◎中学1年生
麻しん(はしか)風しん混合予防接種Ⅲ期を受けてください。

◎高校1年生（H6.4.2～H7.4.1生まれの方） 女子のみ
子宮頸がん予防ワクチンを受けてください。（希望者のみ＝任意ですが、公費助成の期限が3月末日までです）。詳しいことは、市健康推進課が配布するパンフレットをご確認ください。

◎高校3年生（H4.4.2～H5.4.1生まれの方）
麻しん(はしか)風しん混合予防接種Ⅳ期を受けてください。
高校3年生（の学年）の人！ 卒業しても3月31日までは高校生です。1歳頃に受けた麻しん予防接種の効力は、ほとんど無くなっています。必ずこの予防接種を受けて下さい。

ついでに、《年齢》制限の予防接種も確認しましょう。

◎12歳の人（まだ13歳の誕生日が来ていない人）
日本脳炎予防接種Ⅱ期 と 二種混合（ジフテリア・破傷風）Ⅱ期 を、受けて下さい。
12歳の方の母子手帳（12年前に湖東町が配布したもの）には、Ⅱ期を記載する欄がありません。接種済証が貼っていない人（二種混合）、昨年9月以降に自ら医療機関に予防接種に出向いていない人（日本脳炎）は、受け忘れの可能性：大です。

◎4歳の児（まだ、5歳の誕生日が来ていない児）
1月から、あらたに仲間入りした、乳幼児髄膜炎の予防接種 インフルエンザ桿菌b型（ヒブ）ワクチンと、小児用肺炎球菌ワクチンの公費助成の期限が4歳までです。詳しいことは、市健康推進課が配布するパンフレットをご確認ください。

予防接種の相談は！？ 湖東診療所 IP：802-2286

～ うちの子はいったい何の予防接種をしたらイイのよ?? とお困りの方は、『母子手帳を持って』、湖東診療所へ来て下さい。予防接種専門医（自称）の東野先生と、東野先生が鍛え上げた(?) スーパー看護師さんが、とても丁寧に教えてくれますよ ～（東野）



つくってみよう！ 甘納豆利用の簡単小もち

（材料）

もち米	3合
甘納豆	250g～300g
砂糖	6gくらい（スティックシュガー1本）
塩	ひとつまみ

（作り方）

- 1 もち米は30分～1時間ほど前にかしておく。（水加減は白米と同じ目盛り）
- 2 水加減をした上に甘納豆を置いて、炊飯器のスイッチを入れる。
炊きあがったら、上にある甘納豆をそっと取り出す。もち米に砂糖と塩を加え、かき混ぜる。
- 3 もち米を皮にし、甘納豆2～3粒をあんにして包む。（小もちを作る）

- *甘納豆はできるだけ大きめの白いんげん豆が良い
- *「小もち」が20～25個くらいできる
- *上に黒ゴマや青海苔粉を飾っても良い





～環境部会～ ダンボールコンポストの普及を目指して

1月26日、湖東公民館でダンボールコンポストフォローアップ講習会を開催しました。今回は、11月のコンポスト講習会の参加者を対象に行ったものです。

講師に八日市南部まち協のコンポストアドバイザーの方を招き、参加者からの疑問や問題点に一つずつ丁寧にアドバイスをさせていただきました。

この時期の最大の悩みは、なかなか分解が進まないことです。対処法の一つに湯を入れたペットボトルを箱の中に入れておくと効果的という話もありました。

また、現在中断している方も、日を置いてまた再開できるということなので、あきらめずに続けていただきたいと思います。

一方、この寒い時期でも魚の内蔵だと10日程で分解されたと話す参加者もありました。

次回、もう少し進んでステップアップ講座を予定しています。また今後は、コンポストの輪を広げていくために出前講座なども開催していきたいと思っています。(青山)



～子育て支援部会～

学校・園 支援ボランティアバンクでは、1月12日、湖東第三小学校から支援要請があり、『楽器演奏』のボランティアに行ってくださいました。

大きさの違う「オカリナ」や「よし笛」、「電子ピアノ」を持ってきていただき、「ゆぎ」や「カエルのうた」、「さんぼ」などを演奏していただきました。

子どもたちからは、自然と歌声がこぼれ、「勇気100%」という曲では、とっても元気な声を響かせてくれました。

ボランティアに行っていた方からは、「寒い日が続き、心も身体もちぢこまっていましたが、子どもたちの明るく元気のよい歌声にパワーをいただきました。元気、勇気100%です！ワクワクする楽しい1年の始まりとなりました♪」という嬉しい感想をいただきました。(Makiko)



～指定管理準備プロジェクト～

本年4月から『湖東公民館』は、『湖東コミュニティセンター』に名称が変更となり、今までの公民館業務と一部支所の業務がコミュニティセンターへ移行されます。

平成24年度には、指定管理者制度の導入により、湖東まち協が運営する予定になっています。

そこで、1月27日湖東公民館館長の山川さんに、現在の公民館の運営内容、職員数、貸館業務及び、学習講座などの利用度について教えていただきました。

今後、まち協では、公民館の指定管理者を受けるに当たって様々な勉強をして体制を整えていきます。

ぜひ皆さんもコミュニティセンターの指定管理についてご意見があればお聞かせください。お待ちしております。

詳しくは事務局まで(福田)



～会員提案型プロジェクト～ おうちにサンタがやってきた!

12月24日、湖東地区の家庭を“メリークリスマス”の声とともに、サンタクロースが訪問しました。突然、窓から顔を出すサンタクロースの訪問に子どもたちは、大きな歓声を上げるなど喜んでもらえ、素敵なクリスマスイブになったと思います。

この“おうちにサンタクロースがやってきた”企画は、湖東地区の住民の方が提案されたものです。まち協では、皆さんから“こんな企画あったらいいな”、“こんなことしてほしい”といった企画を待っています。

ぜひ、皆さんから提案をお寄せください。(KN)



ただいま商い中

福田 金左衛門

(ふくだ きんざえもん) さん (大沢町)

「春になったら、いちご狩りに来てください」と笑顔で話すのは、金ちゃんハウスの福田 金左衛門さんです。

横溝出屋敷交差点から県道216線を彦根方面に向かうと、大沢町の外れにイチゴ風のペイントを施した事務所が見えてくる。今回は、“真紅の宝石”といわれるイチゴづくりに精を出している、福田 金左衛門 さんを紹介しします。

福田さんは、20年間勤務したJA湖東を退職後、平成9年、滋賀県で開発された「少量土壌培地耕※」といわれる方法でイチゴ栽培を始めた。今でこそ知られた栽培方法であるが、その頃は、まだまだ未知の方式であったという。

「当時、湖東でイチゴ栽培をしている農家は少なかったです。そこで、一念奮起して栽培を始めることにしました。まだ世間に広まっていない(熟知されていない)栽培方式であったので、イチゴ棚の作成から電源工事、水道工事とすべて自分の手で行いました」と、開設までの苦労を振り返る。

今では、ハウス3棟を構え、“章姫(あきひめ)”、“さちのか”、“紅ほっぺ”の3品種を栽培し、味咲館などへ出荷している。

また、春にはイチゴ狩りの看板を掲げ、遠くは大阪からの来客もあり、『毎年、金ちゃんハウスのイチゴを楽しみにしている』と、嬉しい声を頂戴することもある。

今後は、後継者の育成にも力を入れていきたいとも語る、福田さん。大きくて、甘〜いイチゴ、楽しみにしています(K.N)

※少量土壌培地耕とは……

滋賀県独自の養液栽培技術で、わずかな土壌を培地として使うのが特長です。



金ちゃんハウス



金ちゃんハウス

東近江市大沢町

TEL 090-8382-9643

イチゴのおいしい食べ方、一言アドバイス!

- 1 “へた”をとる。
- 2 ここが一番重要。“へた”の方から食べる。(“先っぽ”が、あと)以上です。

<“へた”の方から食べる理由>

イチゴは、“先”の方が糖度が高い。まず、“先”を食べ、後から“へた”の部分を食べてしまうと、糖度が低く、酸味が強く感じてしまうからです。

この人紹介

若林 伸季

(わかばやし のぶとし) さん

(湖東ニュータウン)

若林さんは、甲良町から湖東ニュータウンに来て8年。昼間は自動車整備工場に勤務する40歳。柔道スポーツ少年団錬成館の指導者をしている。

「中学校で柔道、高校ではボクシングをしていました。子どもを柔道スポーツ少年団に入れたのをきっかけに指導者の伊藤勉先生に『柔道の経験者なら一緒に子どもたちに教えてみませんか?』と、誘われたのがきっかけで指導者となった。

ひとりでも多くの方に柔道の良さを知ってほしいと考える若林さん。

「柔道は痛い、つらそう」というイメージがあるのか、なかなか団員も増えません。仕事をしているので100%とはいきませんが、多くの子どもたちに柔道を知ってもらい、柔道を通して礼儀も教えていけたらいいと思います。錬成館で毎週月曜日・木曜日午後7:30から練習をしています。ぜひ皆さん覗きにきてください」と、柔道の指導にかける想いを語る。

湖東地区の新しい力となってください(〜) (Piroko)



若林 伸季 さん

<編集・発行> 湖東地区まちづくり協議会
(事務局)

〒527-0113 東近江市池庄町505番地
東近江市 湖東支所内

TEL 45-3702 FAX 45-1570 IP 050-5801-3702

<http://members.e-omi.ne.jp/suki-koto/>

広報部ブログ <http://machikyo-koto.jugem.jp/>

<<お便りはこちらまで>> suki-koto@e-omi.ne.jp



プレゼント!

今月は、「金ちゃんハウス」から、イチゴ狩り券(1000円相当)を5名の方にプレゼントします。
ご希望の方は、下記の要領により応募してください。

<応募方法>

あなたの住所、氏名、電話番号を記入の上、事務局まで
はがき、メールまたはFaxでお送り下さい。

締め切り: 3月15日(火) 必着